



新成人のみなさん おめでとうございます

20歳になったら国民年金

国内に居住する20歳以上60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、国民年金の保険料を納めることになります。



国民年金（基礎年金）3つのメリット

- ① 老後を支えます 老齢基礎年金
- ② 病気やけがで障害の状態になったときに支えます 障害基礎年金
- ③ 加入者が亡くなったとき、子のある配偶者、子を支えます 遺族基礎年金



世代と世代の支え合いの仲間入り

公的年金制度は、現役世代が納める保険料で高齢者の方の年金を負担するという「世代と世代の支え合い」が基本です。

「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」

収入等がなく保険料の支払いが困難な場合は、「学生納付特例制度」(学生のみ)、「若年者納付猶予制度」(30歳未満)などの保険料納付猶予制度があります。

どちらの制度も、承認された期間は老齢基礎年金を受けるために必要な期間に算入されますが、年金額には反映されません。しかし、収入を得られるようになり保険料の納付が可能となったときに「追納制度」をご利用いただければ将来受け取る年金を増額することができます。

20歳になったときの国民年金の手続き等については旭川年金事務所（電話0166-27-1611）、役場保健福祉課戸籍担当までお問い合わせください。

保健福祉課戸籍担当
電話56-2123

＝平成26年度国民年金保険料の口座前納のお申込み締め切りは2月28日です。＝

水道水の放射性物質検査結果



検査項目	検査結果	検出限界値
放射性ヨウ素 ^{131}I	不検出	0.4Bq/kg
放射性セシウム ^{134}Cs	不検出	0.4Bq/kg
放射性セシウム ^{137}Cs	不検出	

- * 1 平成24年4月1日から水道水のセシウムの新基準値は10Bq/kg（ベクレル毎キログラム）になりました。（厚生労働省）
- * 2 不検出とは、「検出下限値未満」の意味を表します。

水道水の安全確認のため、11月22日に双珠別地区、中央占冠地区、トマム地区の蛇口から採取した水道水及び各水源（原水）の放射性物質の検査を実施しました。

検査の結果、放射性ヨウ素および放射性セシウムは検出されませんでした。

■お問い合わせ 産業建設課水道担当 電話56-2172

占冠村の放射線量の状況（12月）

■放射線量測定記録（12月10日測定）

【単位：マイクロシーベルト】

測定場所	天候	測定値	測定場所	天候	測定値
中央小学校グラウンド	雨	0.057	トマム小中学校グラウンド	雨	0.059
双民館グラウンド	雨	0.059	占冠へき地保育所グラウンド	雨	0.049
占冠地域交流館グラウンド	雨	0.052	トマムへき地保育所グラウンド	雨	0.047

※北海道の空間放射線率モニタリング結果（上川総合振興局0.0209～0.0780）と比較して平常レベルと判断されます。（「北海道放射線モニタリング総合サイト」 <http://monitoring-hokkaido.info/>）

■お問い合わせ 総務課総務担当 電話56-2121



避難訓練の実施

～消火器を使用した消火訓練を実施しました！～

平成25年11月6日（水）、占冠中央小学校（佐藤智昭校長）で児童32名が参加し避難訓練を実施しました。火災発生を知らせる非常ベルが鳴動し、教職員が119番通報や初期消火、児童の避難誘導等、各担当ごとに迅速に行動をしていました。

また、スモークマシーンで煙を充満させた通路では、児童は口にハンカチをあてたり、姿勢を低くしたりして屋外へ避難していました。

避難訓練のあとは、消火器を使った消火訓練を実施しました。火がつき立ち上がった炎を見た児童は「ウァー!!」とビックリした様子でした。児童の代表3名が消火器の使用方法を消防職員からしっかりと説明を受け、消火体験をしました。緊張した面持ちで、炎に向い消火器を一気に噴射させ、見事に消火成功していました。

自分の地域は自分で守る！
詳細は庶務係まで
電話56・2119
消防団員募集!!

救急出場状況 (11月分)		
急病	5件	(5人)
交通事故	3件	(3人)
11月計	8件	(8人)
累計	131件	(123人)
※ ()内は搬送人員		

富良野広域連合 富良野消防署占冠支署 ☎56-2119

冬期の交通事故は夏期に比べて2倍増加!

冬の北海道は夏に比べて、事故発生件数が約2倍になります。もし事故に遭ったら、後続車に合図する、安全な場所に避難する、非常電話で連絡する等して二次事故が起こるのを防ぎましょう。

準備は万全に

雪道でのトラブルを防ぐためには、車の点検などを含めた事前の準備が大切です。もしもの時に役立つ用品をそろえておきましょう。

【ブースターケーブル】バッテリー上がりの際に使用します

【スコップ】車の下の除雪や、スリップして動けなくなつたときの除雪作業に便利です

【牽引ロープ】発進不能になったときの脱出に役立ちます。ロープ部分が太く、金具のしっかりしたものを選びましょう

【軍手、長靴】車外での作業に必要です

【解氷剤】凍結した鍵穴の解氷やフロントガラスについた霜の除去などに使用します

【毛布】車を稼働できない時の寒さ対策として使用します

【三角板、発煙筒】雪道でトラブルが起きた際に周りにその状況を伝える道具が必要となり

村民の願いです
続けよう交通事故死 0 の日
平成19年2月21日から

2495日

SS 平成25年12月20日現在

交通安全
SAFTY DRIVE

上川管内交通事故発生状況
(平成25年12月11日現在)

発生数		前年対比
人身事故	484件	-47件
死者	5人	-1人
傷者	573人	-79人

※交通事故は、決して他人事ではありません。

冬の高速度道路は特に注意

吹雪や夜間でも見やすく、遠くからでも確認できる三角板や発煙筒を常備しましょう

冬の高速度道路は特に注意
冬の高速度道路は雪や氷に覆われ、大変滑りやすくなっております。夏期と同じようなスピードやハンドリングでの走行は非常に危険です。運転技術を過信せず、先を読み、無理のない安全運転を心がけましょう。雪煙で視界が遮られる大型車の横や後ろ、カーブ手前、凍結が多い橋の上、知らず知らずスピードが出る長い下り坂、トンネルの出入り口など危険な場所がたくさんあります。情報板やハイウェイラジオなどを活用し、路面状況や降雪状況を確認しておきましょう。